

令和4年度決算に係る

定期監査資料

令和5年9月

教育委員会高等学校課

## 目 次

|    |  |    |
|----|--|----|
| 1  | 前年度指摘事項等に対する措置等 .....                            | 1頁 |
|    | (1) 勧告事項   |    |
|    | (2) 指摘事項   |    |
|    | (3) 監査意見   |    |
|    | (4) 決算審査意見                                       |    |
| 2  | 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況 .....               | 2  |
| 3  | 職員の定員、現員調べ .....                                 | 3  |
| 4  | 役付職員の調べ .....                                    | 3  |
| 5  | 主な事業に関する調べ .....                                 | 4  |
| 6  | 決算資料 .....                                       | 6  |
| 7  | 事業別実施状況調べ .....                                  | 8  |
| 8  | 予備費の充用調べ .....                                   | 17 |
| 9  | 現金の取扱状況 .....                                    | 17 |
|    | (1) 現金取扱状況                                       |    |
|    | (2) つり銭の状況                                       |    |
| 10 | 財産の貸付け及び使用許可調べ .....                             | 17 |
|    | (1) 公有財産   |    |
|    | (2) 金券類の保有状況                                     |    |
|    | (3) 基金   |    |
|    | (4) 債権   |    |
| 11 | 財産の貸付及び使用許可調べ .....                              | 18 |
|    | (1) 土地及び建物                                       |    |
|    | (2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの) |    |
| 12 | 借受不動産明細調べ .....                                  | 18 |
| 13 | 職員駐車場の管理状況調べ.....                                | 18 |
|    | (1) 管理状況   |    |
|    | (2) 減免の考え方                                       |    |
|    | (3) 使用料の見直し                                      |    |
| 14 | 寄附物件の受納状況調べ .....                                | 18 |
| 15 | 備品の処分状況調べ.....                                   | 18 |
| 16 | 貸付金等状況調べ .....                                   | 18 |
|    | (1) 総括表  |    |
|    | (2) 償還状況   |    |
| ○  | 意見、要望等.....                                      | 18 |

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 勧告事項

該当なし

(2) 指摘事項

| 指摘事項   | 措置状況等   |
|--|---|
| 雑入(グローバルリーダーズキャンパス最優秀受講者表彰式出席に係る経費)について、令和元年度にすべき調定等を行っていなかった。 | <p>1 原因<br/>収入調定を令和元年度の適切な時期に行っていなかったこと、及び事業移管時に適切な引継ぎを行っていなかったことが原因である。</p> <p>2 処理方針(既に措置したものは、講じた措置を具体的に記載)<br/>未調定だった収入調定を行い、令和4年5月20日に収納完了した。また、引継書の作成を徹底し、担当者及び上司が確認できる体制を構築するとともに、調定を適切な時期に行うこととした。</p> <p>3 再発防止策<br/>今回の指摘内容を教育委員会事務局全体で共有し、適切な時期に収入調定を行う等会計規程を遵守するとともに、引継書の作成を徹底して、特に所属間で事業移管がある場合等において引継ぎ事項が漏れることのないよう、事務局内各所属に対して年度末等に改めて注意喚起を行う。</p> |

(3) 監査意見

該当なし

(4) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

| 指摘事項   | 処理状況等   |
|--|---|
| <p>GIGAスクール構想により一人一台の情報端末が整備され、各校で活用が進む一方、十分に活用されていない学校も一部に見られるなど、進展の度合いに差が生じている。</p> <p>学校教育現場はコロナ禍で転換期を迎えており、教育の不公平感を生み出さないためにも、ICT機器活用による遠隔教育など休校時の学習機会の確保を行い、学びを止めない体制の確立が急務となっており、そのためには各教員のICT活用指導力の向上が必須となるが、業務多忙等を理由に研修受講が困難という状況が見られる。</p> <p>各校において校長を中心とした管理職がリーダーシップを発揮して教育活動にICTを取り入れ、教員の働き方改革を行うことで教員が研修受講できる環境づくりにつなげるべきである。</p> <p>また、児童生徒が県内のどの学校においても学ぶ機会を逃すことのないよう、外部委託なども含めたICT支援員の一時的増員などにより、各校のICT指導力向上を図るとともに、業務の負担軽減を図り、ICTを最大限活用した教育の質の向上に向けた取組を加速させるべきである。</p> | <p>令和3年度から4中学校区に指定したICT推進地域において積極的にICT機器を活用した実践を行い、そこで得られた知見や好事例を定期的にオンラインでライブ配信することで横展開を図るとともに、学びの創造先進校(1校)におけるプロジェクト型学習(PBL)などの先進的な取組をもとに、鳥取県版PBLカリキュラムの開発を行った。</p> <p>令和5年度はICTの活用に支援を必要としている学校を「ICT活用教育推進校」に指定(全県で8校)し、校務分野での活用による働き方改革と学習への活用を強力に推進するとともに、同推進校での取組状況をホームページ等で発信して全県下に横展開していく。各教員のICT活用指導力向上に向けては、校長(令和3年度より学校CIOに位置づけ)や情報化推進リーダーへの悉皆研修など校内推進役への意識改革を継続することに加え、オンライン研修を増やして教員が受講しやすい環境を構築するとともに、教員個々の能力に応じた自主研修に活用できる研修動画・資料の公開を充実していく。</p> <p>ICT活用支援については、学校等の要望に応じてソフト開発やネットワークの構築の支援・助言等を行うICT教育指導員(有資格者)1名の配置に加え、デジタル教科書の活用をはじめとしたGIGAスクールを深化させる授業づくりの支援を行う教育DX推進員1名を新たに配置する。また、令和4年度に開設した「GIGAスクール運営支援センター(ヘルプデスク)」の支援対象を市町村教育委員会にも拡大する(令和4年度は県立学校のみ対象)。</p> <p>全市町村に配置されているICT支援員とも連携を図りながら、県全体の底上げを図りつつ、強固な支援体制を構築していく。</p> |
| <p>県立高校各校ごとの図書購入実績額を比較したところ、学校によっては2倍以上の差が生じている。</p> <p>現在、図書購入額は各校の判断とされているが、教育委員会は、各校ごとの図書購入実績についてその閲覧方法を工夫するなど県民に広く公開することで、各校の積極的な予算活用を促し、生徒のニーズに応じた図書資料の充実を図るべきである。</p> <p>また、家庭の事情により図書等の購入が難しい生徒もいることを考慮し、各高校間の図書購入費の差が教育格差になりかねないことをふまえ、学校図書資料及び図書室の積極的な活用に向け引き続き取り組むべきである。</p>   | <p>各学校の図書購入費については、実績額が多い学校は、国認定事業に係る予算措置や同窓会寄付金等による購入増といった年度ごとの特殊事情もあったが、県予算(学校裁量予算)の執行額のみと比較においても、学校間で一定の差が生じている状況であった。</p> <p>今後、県立高校それぞれの図書購入費の実績をホームページで公表するとともに、学校間での相互貸借制度や県立図書館からの貸出支援を活用することで、各学校の特色や生徒のニーズに応じた図書資料の充実をより一層図っていく。</p> <p>また、学校図書館による授業支援(図書資料の貸出、図書館での授業実施、成果発表)、各学校図書館行事や主催イベントの実施は既に全校で定着しており、司書教諭や司書等の研修機会の充実など、学校図書資料及び図書室の積極的な活用に資する取組を進めているところだが、学校図書館が生徒の「知」の習得に関して重要な働きを担っていることを踏まえ、指導主事による学校訪問の際には他校の図書購入状況を情報共有するとともに、図書購入費や活用状況の聞き取りを行うなど、引き続き、学校図書館の充実に努めていく。</p>   |

3 職員の定員、現員調べ

| 種別<br>区分           | 事務職員        |             | 技術職員        |             | 現業職員        |             | 計           |             | 備 考                         |
|--------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------------------------|
|                    | 5.4.1<br>現在 | 4.4.1<br>現在 | 5.4.1<br>現在 | 4.4.1<br>現在 | 5.4.1<br>現在 | 4.4.1<br>現在 | 5.4.1<br>現在 | 4.4.1<br>現在 |                             |
| 定 員                | 18          | 18          |             |             |             |             | 18          | 18          |                             |
| 現 員                | ( )<br>18   | ( )<br>18   | ( )         | ( )         | ( )         | ( )         | ( )<br>18   | (0)<br>18   |                             |
| 過不足(△)             | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |                             |
| 臨 時 的<br>任 用 職 員   | 0           | 0           |             |             |             |             | 0           | 0           |                             |
| 会 計 年 度<br>任 用 職 員 | 3           | 3           |             |             |             |             | 3           | 3           | ・一般事務(2名)<br>・ALT支援担当職員(1名) |

4 役付職員の調べ

(令和5年9月1日現在)

| 職 名        | 氏 名    | 在職期間 |   | 備 考   |
|------------|--------|------|---|-------|
|            |        | 年    | 月 |       |
| 参事監兼高等学校課長 | 井上 祐一郎 |      | 5 |       |
| 高校教育企画室長   | 福本 哲也  | 5    | 5 |       |
| 課長補佐       | 坂本 貢一  | 1    | 5 |       |
| 課長補佐       | 津村 恵   |      | 5 | 1年5ヶ月 |

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

| 事業名           | 決算額  | 財源内訳  |    |     |        |
|---------------|--|-------|----|-----|--------|
|               |  | 国庫支出金 | 起債 | その他 | 一般財源   |
| とっとり高校魅力化推進事業 | 19,447   |       |    |     | 19,447 |
| 将来ビジョン        | 2 つなげる 力をつなげ、結集して、持続可能で魅力あふれる地域を創る   |       |    |     |        |
| 令和新時代創生戦略     | 大項目：人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む 中項目：人材とっとり 小項目：地域を支える人材の育成<br>SDGsゴール (04 質の高い教育をみんなに) |       |    |     |        |
| 政策項目          | 学力・体力を真に育む学校改革と子どもの未来を拓く特色ある高校づくり  |       |    |     |        |

1 事業の目的、概要

生徒数の減少が進む主に中山間地域の高校の魅力化を推進し、県内外の中学生や保護者が進学を選択肢として積極的に検討するような魅力ある「特色」の創造に取り組み、情報発信を行うことで当該高校への進学を促す。

2 事業の内容、実施の状況

(1) 高校魅力化事業

- 青谷高校において、地域資源の「青谷上寺地遺跡」を活かした学習を行った。遺跡の発掘体験や土器づくり体験、先端の研究者の講演等、考古学という他の高校にはない魅力の打ち出しを行った。
- 智頭農林高校においては、地元智頭町と連携し、生徒が授業で学んだことを学校外でも活かしながら活動できる活動拠点を設置し、魅力化コーディネーターの支援のもと活動拠点の整備を行ったり、地元住民とふれあうイベントの開催等、高校の魅力化にとどまらず、地域活性化にもつながる取組を行った。
- 岩美高校においては、「製菓」「調理」といった科目を設定し、実習に必要な調理器具等を整備するとともに、地元岩美町の飲食店の方を講師に招き製菓実習を行った。
- 倉吉農業高校においては、ドローンや水管理システムなどのICT機器を農業に活用するなど、スマート農業の充実を図った。

(2) PR等活動事業

- SNS等を活用した魅力発信  
八頭高校、倉吉総合産業高校、鳥取中央育英高校、境高校、境港総合技術高校について、PR映像を作成した。また、それを活用したYouTube広告を関東、関西エリアにおいて配信し、各高校の魅力を発信した。
- ラジオ、SNSの活用による全国に向けた高校の魅力発信  
若年層に人気のFMラジオ番組を活用し、パーソナリティが青谷高校、倉吉農業高校、日野高校を直接訪問し、それぞれの学校の紹介動画を作成、番組HPで公開した。また、高校生自らが20秒程度のラジオCMを制作して番組内で放送するなどし、高校の魅力について全国に情報発信を行った。
- 県外生徒の募集活動  
全国各地の高校魅力化に実績のある鳥根県の財団法人が主催する、県外高校への進学を検討する都市部等の中学生・保護者と県立高校のマッチングイベント(地域みらい留学)に3校(青谷高校、倉吉農業高校、日野高校)が参加し、生徒募集活動を行った。
- 県外生徒の受入環境整備事業  
県外生徒を受け入れるために、八頭高校同窓会が運営する学生寮や、県外生徒を受入れる下宿先に対して支援を行った。また、私立倉吉北高校との協定にもとづき、学生寮に県外生徒の受け入れをしてもらうことで、住環境整備を行った。
- 県外生徒受け入れ環境の新規開拓事業  
不動産事業者と連携し、空アパートや旅館、個人宅など、県外生徒の下宿として利用できる施設の調査、開拓を行った。

3 事業成果(改善状況)・課題等

- 県外の中学生や保護者から県立高校への問合せや視察訪問の依頼が学校に数多く寄せられた。また実際に県外からの入学者数が増加傾向にある。

県外からの入学者数 (※全県立高校) (人)

| R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|----|----|----|----|----|
| 44 | 46 | 52 | 54 | 58 |

- 県外生徒受け入れのためには、学生寮などの住環境が整っていることが必要となるが、現時点で県営の学生寮を有する県立高校は3校しかないため、同窓会等が運営する民間寮や私立高校の学生寮の活用、下宿制度等により住環境整備に努めているところ。さらなる県外生徒の受け入れを進めていくためには、地元自治体と連携しながら、住環境整備等を進めていくことが必要。
- さらに地域と連携した取組を推進し、高校の魅力化だけでなく、魅力と活力のある地域づくりにつなげていく必要がある。

(単位：千円)

| 事業名           | 決算額   | 財源内訳  |         |     |         |
|---------------|---|-------|---------|-----|---------|
|               |   | 国庫支出金 | 起債      | その他 | 一般財源    |
| 国際バカロレア教育導入事業 | (4,436)   |       | (3,000) |     | (1,436) |
|               | 65,570  | 553   | 38,000  |     | 27,017  |
| 将来ビジョン        | 1 ひらく 地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく  |       |         |     |         |
| 令和新時代創生戦略     | 大項目：人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む 中項目：人財とっとり 小項目：未来を拓く人づくり<br>SDGsゴール(04 質の高い教育をみんなに) |       |         |     |         |
| 政策項目          | 国際化・AI化に対応した英語・プログラミング教育と大学入試改革   |       |         |     |         |

### 1 事業の目的、概要

世界に通用する論理的思考力や表現力、コミュニケーション能力などが身につけられることで国内外から高い評価を得ている国際バカロレア（IB）教育を令和5年度から倉吉東高等学校で実施するため、令和4年度中の認定を目指して必要な学習環境等の整備を行うとともに、IBの認知度向上や機運醸成を図り、入学生の確保を目的とした「高校生国際バカロレアフォーラム」を開催する。

※国際バカロレア（IB）教育…国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラムで、世界に通用する論理的思考力や表現力、コミュニケーション能力などが身につけられる。

### 2 事業の内容、実施の状況

#### (1) 国際バカロレアフォーラム 2022 in 鳥取の開催

- ・令和4年11月20日(日)に倉吉未来中心大ホールで開催し、先進校講師によるパネルディスカッション、IB  
先進校の生徒による成果発表等を実施
- ・参加者は、国際バカロレア教育に関心を持つ生徒、保護者及び学校関係者等あわせて約200人

#### (2) 認定に必要な研修会、ワークショップ等への参加

- ・IBコンソーシアム協議会への参加(IB教育推進を目的に関係者間で検討)
- ・校内研修会の実施(他県IB校のIBコーディネーター等による教員向けスキルアップ研修)
- ・管理職、IB担当教員のワークショップへの参加(14名)

#### (3) 先進校等への視察

- ・国内の既認定校  
→東京学芸大附属、広島県立観智学園、高知県立高知国際、滋賀県立虎姫他5校
- ・国外視察  
→ロンドン・パリ
- ・先進的なIB校での短期研修(東京学芸大附属国際中等教育学校)

#### (4) 施設改修の実施設計・工事発注

- ・IBコースの普通教室を整備(図書館棟)
- ・国際バカロレア機構が定める安全要件を満たすよう改修(化学実験室のドラフトチャンバー、緊急用シャワー等)
- ・管理棟の改修工事により、IB授業の増加による教室不足を解消
- ・IB音楽の試験・個人練習等のための個別ブースを創作交流ホールに設置

#### (5) 認定校になるための施設改修に伴う物品等購入

- ・試験保管用金庫、IB教室用机、いす、IB各科目用の教材等

### 3 事業成果(改善状況)・課題等

- ・令和4年9月に国際バカロレア機構から認定校に認められた。
- ・「高校生国際バカロレアフォーラム」を開催し、鳥取県における国際バカロレア教育の導入を広く国内外に発信を行った。
- ・教員の研修、カリキュラムの検討等も効率的に行なっている。
- ・教育環境課(施設担当)と教育人材開発課(人事担当)と連携しながら、令和6年度授業開始にむけた準備を継続的に行っている。

## 6 決算資料

## 一般会計(歳入)

(単位:円)

| 区分     | 科目           | 予 算 現 額       |              |                          |                              | 調 定 額<br>A                   | 収入済額<br>B                    | 不納<br>欠損額<br>C | 収入<br>未済額<br>A-B-C | 備 考 |
|--------|--------------|---------------|--------------|--------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|----------------|--------------------|-----|
|        |              | 当初予算額         | 補正予算額        | 継続費及び繰越事業費<br>繰越財源充当額    | 計                            |                              |                              |                |                    |     |
| 歳<br>入 | 教育使用料        | 1,231,090,000 | 0            | 0                        | 1,231,090,000                | 1,188,009,990                | 1,188,009,990                | 0              | 0                  |     |
|        | 教育手数料        | 32,927,000    | 0            | 0                        | 32,927,000                   | 28,421,590                   | 28,421,590                   | 0              | 0                  |     |
|        | 教育費国庫<br>負担金 | 1,057,688,000 | △ 64,928,000 | 0                        | 992,760,000                  | 995,859,408                  | 995,859,408                  | 0              | 0                  |     |
|        | 教育費国庫<br>補助金 | 21,405,000    | △ 499,000    | 0                        | 20,906,000                   | 5,304,908                    | 5,304,908                    | 0              | 0                  |     |
|        | 生産物売払<br>収入  | 0             | 0            | 0                        | 0                            | 31,387                       | 31,387                       | 0              | 0                  |     |
|        | 雑入           | 273,000       | 0            | 0                        | 273,000                      | 1,126,380                    | 1,126,380                    | 0              | 0                  |     |
|        | 繰越金          | 0             | 0            | (1,436,000)<br>1,436,000 | (1,436,000)<br>1,436,000     | (1,436,000)<br>1,436,000     | (1,436,000)<br>1,436,000     | (0)<br>0       | (0)<br>0           |     |
|        | 教育債          | 46,000,000    | △ 11,000,000 | (3,000,000)<br>3,000,000 | (3,000,000)<br>38,000,000    | (3,000,000)<br>38,000,000    | (3,000,000)<br>38,000,000    | 0              | (0)<br>0           |     |
|        | 合 計          | 2,389,383,000 | △ 76,427,000 | (4,436,000)<br>4,436,000 | (4,436,000)<br>2,317,392,000 | (4,436,000)<br>2,258,189,663 | (4,436,000)<br>2,258,189,663 | (0)<br>0       | (0)<br>0           |     |



一般会計(歳出)

(単位:円)

| 区分 | 科目      | 予算現額          |              |                          |                         |                              | 支出済額<br>(決算額)<br>B           | 支出済額の内訳                 |                              | 翌年度繰<br>越額<br>C | 差引残額<br>(不用額)<br>A-B-C | 備考 |
|----|---------|---------------|--------------|--------------------------|-------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------|------------------------------|-----------------|------------------------|----|
|    |         | 当初予算額         | 補正予算額        | 継続費及び繰越事業費繰越額            | 予備費支出及び流用増減             | 計<br>A                       |                              | 本庁                      | 出納機関                         |                 |                        |    |
| 歳出 | 教育連絡調整費 | 1,223,682,000 | △ 86,010,000 | (4,436,000)<br>4,436,000 | △ 1,900,000             | (4,436,000)<br>1,140,208,000 | (4,436,000)<br>1,129,458,451 | 48,783,393              | (4,436,000)<br>1,080,675,058 | 0               | (0)<br>10,749,549      |    |
|    | 教育振興費   | 78,869,000    | △ 6,927,000  | ( )<br>0                 | (460,000)<br>16,539,000 | (460,000)<br>88,481,000      | (460,000)<br>73,682,621      | (460,000)<br>49,559,982 | 24,122,639                   | 0               | (0)<br>14,798,379      |    |
|    | 教育財産管理費 | 474,000       | 0            | 0                        |                         | 474,000                      | 380,082                      |                         | 380,082                      | 0               | 93,918                 |    |
|    | 合計      | 1,303,025,000 | △ 92,937,000 | (4,436,000)<br>4,436,000 | (460,000)<br>14,639,000 | (4,896,000)<br>1,229,163,000 | (4,896,000)<br>1,203,521,154 | (460,000)<br>98,343,375 | (4,436,000)<br>1,105,177,779 | 0               | (0)<br>25,641,846      |    |

特別会計  
該当なし

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

| 事業名                         | 予 算 現 額       |  |                         |   |               | 支出済額<br>(決算額)<br>B | 翌年度<br>繰越額<br>C | 差引残額<br>(不用額)<br>A-B-C | 執行率<br>B/A | 事業計画と実績・<br>成果、繰越、<br>不用額の理由等   |
|-----------------------------|---------------|--|-------------------------|---|---------------|--------------------|-----------------|------------------------|------------|---|
|                             | 当初予算額         | 補正予算額  | 継続費及び<br>繰越事業費<br>繰 越 額 | 予 備 費<br>支出及び<br>流用増減   | 計<br>A        |                    |                 |                        |            |   |
| (教育連絡調整費)<br>教職員派遣<br>研修費   | 13,129,000    | △ 174,000  | 0                       | △ 3,039,000   | 9,916,000     | 6,795,457          | 0               | 3,120,543              | 69%        | <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、中央研修等の県外での研修はオンラインでの実施となったが、教職員の資質や指導力の向上を図るため、計画的な派遣により研鑽を積んだ。</p> <p>【消費者教育に係る研修】<br/>新型コロナウイルス感染症の影響により、県外から外部講師を招くことはやめ、県弁護士会と消費生活センターとで連携した出前授業を実施した。</p> <p>【不用額の理由】<br/>新型コロナウイルス感染症の影響により、中央研修等の県外での研修はオンラインでの実施となった</p> <p>(入学選抜諸費、高等学校教育企画費、国際バカロレア教育導入事業へ流用)</p> |
| 中央研修講座への派遣<br>各種研修会・講習会への派遣 |               | 新型コロナウイルス感染症の影響で基本的にオンラインでの実施となったが、指導主事及び現職教員を中央研修講座等に派遣することで、指導力の向上を図るとともに、各地区において中核となる人材の育成を図った。   |                         |   |               |                    |                 |                        |            |   |
| 内地留学・新教育大学大学院等への派遣          |               | 区分   |                         | テーマ及び派遣先  |               | 人数                 | 期間              |                        |            |   |
|                             |               | 内地留学   |                         | 特別支援教育の充実<br>鳥取大学地域学部(1人)   |               | 1人                 | 1年              |                        |            |   |
|                             |               | 新教育大学大学院等  |                         | 兵庫教育大学大学院(2年目1人、1年目1人)<br>島根大学大学院(2年目1人、1年目1人)<br>西日本旅客鉄道株式会社(1人) |               | 4人                 | 2年<br>2年<br>1年  |                        |            |   |
| 大学の知と連携した授業改革による学びの質の向上     |               | 東京大学   |                         | 2人  | 7回以上          |                    |                 |                        |            |   |
| 消費者教育推進に係る研修                |               | 成年年齢引き下げに伴い、高校生の消費者被害の防止・救済に係る教育の充実のため、講師を招聘して授業実践の取組を学び、各学校の取組についての意見交換を行った。また、令和2年度に県立高校の公民科教員2名・家庭科教員2名・県教育委員会事務局とて出前授業のための統一教材を作成し、令和3年度に県消費生活センター・県弁護士会と連携した全県立高校への出前授業を実施した。 |                         |   |               |                    |                 |                        |            |   |
| 県立高校裁量<br>予算学校<br>独自事業      |               |  |                         |   |               |                    |                 |                        |            | <p>学校長が独自性を発揮した学校経営ができるよう、学校運営費、教職員旅費、学校独自事業の総額を一括して配分し、学校長裁量による予算執行を行った。</p> <p>各学校の課題解決のための臨機な対応ができ、実施に当たった費用対効果の検証、説明責任を果たすなど、学校の自主・自立に繋がっている。</p>   |
| 公立高等学校<br>就学支援<br>事業        | 1,065,673,000 | △ 64,928,000   | 0                       | 672   | 1,000,745,672 | 999,405,754        | 0               | 1,339,918              | 99%        | <p>保護者等の市町村民税の課税標準額×6%－市町村民税の調整控除額の合算額が304,200円未満の世帯に対し、高等学校等就学支援金及び学び直し支援金の支給等を行った。</p> <p>(高等学校教育企画費から流用)</p>   |
|                             |               | 支給総額   |                         | 年度内受給者数(実人数)  |               |                    |                 |                        |            |   |
|                             |               | 高等学校等就学支援金   |                         | 995,859,408円  |               | 8,991人             |                 |                        |            |   |
|                             |               | 学び直し支援金  |                         | 234,728円  |               | 13人                |                 |                        |            |   |

| 事業名              | 予 算 現 額    |              |                          |                     |                           | 支出済額<br>(決算額)<br>B        | 翌年度<br>繰越額<br>C | 差引残額<br>(不用額)<br>A-B-C | 執行率<br>B/A | 事業計画と実績・<br>成果、繰越、<br>不用額の理由等  |
|------------------|------------|--------------|--------------------------|---------------------|---------------------------|---------------------------|-----------------|------------------------|------------|--|
|                  | 当初予算額      | 補正予算額        | 継続費及び<br>繰越事業費<br>繰越額    | 予備費<br>支出及び<br>流用増減 | 計<br>A                    |                           |                 |                        |            |  |
| 高等学校改革推進事業       | 9,975,000  | △ 5,480,000  | 0                        | 0                   | 4,495,000                 | 3,105,335                 | 0               | 1,389,665              | 69%        | 「令和新時代の本県高等学校教育の在り方について[令和8年度から令和17年度]」(R3.10県教育審議会答申)に基づき、基本方針の検討を進めた。<br>また、学校と地域が連携・協働しながら、新しい時代に求められている生徒の資質・能力を育むため保護者や地域住民等が教育課程など学校運営に直接意見できる学校運営協議会を新たに8校で導入したことで、全県立高校24校で導入完了した。<br>【不用額の理由】<br>学校運営協議会委員が欠席したことによる。 |
| (主)とっとり高校魅力化推進事業 | 27,034,000 | △ 3,650,000  | 0                        | △ 1,900,000         | 21,484,000                | 19,447,172                | 0               | 2,036,828              | 91%        | 主な事業に関する調べのとおり<br><br>(グローバルリーダーズキャンパスへ流用)   |
| (主)国際バカロレア教育導入事業 | 73,821,000 | △ 11,778,000 | (4,436,000)<br>4,436,000 | 3,000               | (4,436,000)<br>66,482,000 | (4,436,000)<br>65,570,166 | (0)<br>0        | (0)<br>911,834         | 99%        | 主な事業に関する調べのとおり<br><br>(教職員派遣研修費から流用)   |
| 高等学校教育企画費        | 27,472,000 | 0            | 0                        | 2,198,328           | 29,670,328                | 27,765,969                | 0               | 1,904,359              | 94%        | 県立高等学校に対して指導・助言を行うとともに、関係団体への助成等を行った。<br><br>(教職派遣研修費から流用、入学選抜諸費、公立高等学校就学支援事業へ流用)  |

| 事業名                               | 予 算 現 額       |              |                          |                     | 支出済額<br>(決算額)<br>B           | 翌年度<br>繰越額<br>C              | 差引残額<br>(不用額)<br>A-B-C | 執行率<br>B/A        | 事業計画と実績・<br>成果、繰越、<br>不用額の理由等 |  |   |    |    |     |     |     |     |       |       |       |       |     |     |     |     |     |   |       |       |       |       |
|-----------------------------------|---------------|--------------|--------------------------|---------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------|-------------------|-------------------------------|--|---|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|---|-------|-------|-------|-------|
|                                   | 当初予算額         | 補正予算額        | 継続費及び<br>繰越事業費<br>繰越額    | 予備費<br>支出及び<br>流用増減 |                              |                              |                        |                   |                               | 計<br>A   |   |    |    |     |     |     |     |       |       |       |       |     |     |     |     |     |   |       |       |       |       |
| 入学選抜諸費                            | 6,578,000     | 0            | 0                        | 837,000             | 7,415,000                    | 7,368,598                    | 0                      | 46,402            | 99%                           | 令和5年度県立高等学校入学者等の選抜を実施した。<br><br>願書受付<br>(一般) R5.2.16~2.20<br>入学者選抜検査<br>(一般) R5.3.7~3.8<br>合格発表 R5.3.16<br><br>(教職員派遣研修費、高等学校教育企画費から流用)  |   |    |    |     |     |     |     |       |       |       |       |     |     |     |     |     |   |       |       |       |       |
|                                   |               |              |                          |                     |                              |                              |                        |                   |                               |  | (単位:人)  |    |    |     |     |     |     |       |       |       |       |     |     |     |     |     |   |       |       |       |       |
|                                   |               |              |                          |                     |                              |                              |                        |                   |                               |  | <table border="1"> <thead> <tr> <th>課程</th> <th>定員</th> <th>志願者</th> <th>受検者</th> <th>合格者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全日制</td> <td>3,728</td> <td>3,736</td> <td>3,648</td> <td>3,247</td> </tr> <tr> <td>定時制</td> <td>220</td> <td>153</td> <td>152</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,948</td> <td>3,889</td> <td>3,800</td> <td>3,373</td> </tr> </tbody> </table> | 課程 | 定員 | 志願者 | 受検者 | 合格者 | 全日制 | 3,728 | 3,736 | 3,648 | 3,247 | 定時制 | 220 | 153 | 152 | 126 | 計 | 3,948 | 3,889 | 3,800 | 3,373 |
| 課程                                | 定員            | 志願者          | 受検者                      | 合格者                 |                              |                              |                        |                   |                               |  |   |    |    |     |     |     |     |       |       |       |       |     |     |     |     |     |   |       |       |       |       |
| 全日制                               | 3,728         | 3,736        | 3,648                    | 3,247               |                              |                              |                        |                   |                               |  |   |    |    |     |     |     |     |       |       |       |       |     |     |     |     |     |   |       |       |       |       |
| 定時制                               | 220           | 153          | 152                      | 126                 |                              |                              |                        |                   |                               |  |   |    |    |     |     |     |     |       |       |       |       |     |     |     |     |     |   |       |       |       |       |
| 計                                 | 3,948         | 3,889        | 3,800                    | 3,373               |                              |                              |                        |                   |                               |  |   |    |    |     |     |     |     |       |       |       |       |     |     |     |     |     |   |       |       |       |       |
| 目 計                               | 1,223,682,000 | △ 86,010,000 | (4,436,000)<br>4,436,000 | △ 1,900,000         | (4,436,000)<br>1,140,208,000 | (4,436,000)<br>1,129,458,451 | 0                      | (0)<br>10,749,549 | 99%                           |  |   |    |    |     |     |     |     |       |       |       |       |     |     |     |     |     |   |       |       |       |       |
| (教育振興費)<br>学校連携による学カス<br>テップアップ事業 | 5,350,000     | △ 300,000    | 0                        | △ 55,000            | 4,995,000                    | 3,017,322                    | 0                      | 1,977,678         | 60%                           | 学校の枠を超えた連携を深め、教員同士が協働して教科指導力を向上させ授業改善を図るための取組や、切磋琢磨しながら進路実現に向けて果敢にチャレンジする生徒を育成するための取組を実施。<br>・学校連携チャレンジサポート事業(5校6事業)<br>理数課題研究等発表会は口頭発表のみを実施。<br>・理数課題研究等発表会<br>R4参加生徒数17人(R3:30人)<br>・「科学の甲子園」鳥取県大会<br>R4参加生徒数69人(R3:64人)<br><br>【不用額の理由】<br>新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となったり、講演会をオンライン開催に切り替えたため。<br><br>(ふるさとキャリア教育充実事業、鳥取発!グローバルチャレンジ事業へ流用) |   |    |    |     |     |     |     |       |       |       |       |     |     |     |     |     |   |       |       |       |       |

| 事業名                    | 予 算 現 額    |             |                       |                     |           | 支出済額<br>(決算額)<br>B | 翌年度<br>繰越額<br>C | 差引残額<br>(不用額)<br>A-B-C | 執行率<br>B/A | 事業計画と実績・<br>成果、繰越、<br>不用額の理由等  |                  |  |            |  |
|------------------------|------------|-------------|-----------------------|---------------------|-----------|--------------------|-----------------|------------------------|------------|--|------------------|--|------------|--|
|                        | 当初予算額      | 補正予算額       | 継続費及び<br>繰越事業費<br>繰越額 | 予備費<br>支出及び<br>流用増減 | 計<br>A    |                    |                 |                        |            |  |                  |  |            |  |
| 新しい学び<br>の創造事業         | 3,028,000  | △ 1,700,000 | 0                     | 0                   | 1,328,000 | 628,245            | 0               | 699,755                | 47%        | <p>高大接続改革が進められる中、高等学校教育において求められている「思考力・判断力・表現力（記述力）」の強化を図るため、各研究、各学問分野等における著名な研究者、実践者等を招いて意見交流を行う等の質の高い探究活動を実施した。</p> <p>【不用額の理由】<br/>新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となったり、講演会をオンライン開催に切り替えたため。</p> |                  |  |            |  |
| ふるさと<br>キャリア教<br>育充実事業 | 10,350,000 | △ 2,126,000 | 0                     | 50,000              | 8,274,000 | 6,533,781          | 0               | 1,740,219              | 79%        | <p>各取組を進めるなかで、県内就職生徒の内定率は100%と高水準を維持し、卒業後1年以内の県内就職者の離職率は11.6%と同水準を維持している。</p> <p>(学校連携による学カステップアップ事業から流用)</p>  |                  |  |            |  |
|                        |            |             |                       |                     |           |                    |                 |                        |            |  | 区分               |  | 実績         |  |
|                        |            |             |                       |                     |           |                    |                 |                        |            |  | キャリア塾            |  | 54事業実施     |  |
|                        |            |             |                       |                     |           |                    |                 |                        |            |  | キャリア教育推進協力企業     |  | 261社       |  |
|                        |            |             |                       |                     |           |                    |                 |                        |            |  | 鳥取県福祉ヘルプメイト資格認定者 |  | 2名         |  |
|                        |            |             |                       |                     |           |                    |                 |                        |            |  | 介護職員初任者研修認定者     |  | 38名        |  |
|                        |            |             |                       |                     |           |                    |                 |                        |            |  | 職業教育技術顕彰         |  | 275名の生徒を表彰 |  |
| 県内等修学<br>旅行支援事<br>業    | 2,500,000  | 0           | 0                     | 0                   | 2,500,000 | 1,309,819          | 0               | 1,190,181              | 52%        | <p>生徒がふるさとについて学ぶ機会を創出し、地域への愛着を育んでいきたいという視点から新型コロナウイルス感染症の感染リスクの少ない県内等で修学旅行等を行った。(県立学校7校)</p> <p>【不用額の理由】<br/>新型コロナウイルス感染症の規制緩和のため、県外への修学旅行を実施する学校が増えたため。</p>                                 |                  |  |            |  |

| 事業名  | 予 算 現 額   |           |                       |                     |           | 支出済額<br>(決算額)<br>B | 翌年度<br>繰越額<br>C | 差引残額<br>(不用額)<br>A-B-C | 執行率<br>B/A | 事業計画と実績・<br>成果、繰越、<br>不用額の理由等  |    |      |       |      |     |     |        |          |     |        |      |          |        |    |    |
|--|-----------|-----------|-----------------------|---------------------|-----------|--------------------|-----------------|------------------------|------------|--|----|------|-------|------|-----|-----|--------|----------|-----|--------|------|----------|--------|----|----|
|  | 当初予算額     | 補正予算額     | 継続費及び<br>繰越事業費<br>繰越額 | 予備費<br>支出及び<br>流用増減 | 計<br>A    |                    |                 |                        |            |  |    |      |       |      |     |     |        |          |     |        |      |          |        |    |    |
| 外部人材活用事業   | 5,372,000 | △ 523,000 | 0                     | 0                   | 4,849,000 | 4,361,755          | 0               | 487,245                | 90%        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立高校・大学教員交流事業<br/>高等学校の生徒が大学教員の最先端の講義を受けることにより、学ぶことへの意欲の高揚を図るとともに、生徒の思考を深める効果があった。同時に高校教員が大学教員の指導方法を知り、授業改革の契機となっている。</li> <li>・社会人講師活用事業<br/>実社会への対応及び地域社会と連携した高等学校教育を推進することができ、各教科に関する専門分野の優れた知識・技能を持つ社会人講師を活用することで教育の充実及び職業観・勤労観を育成する一助となった。</li> </ul> |    |      |       |      |     |     |        |          |     |        |      |          |        |    |    |
| <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>大学</th> <th>実施校数</th> <th>延べ教員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取大学</td> <td>9校</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>鳥取環境大学</td> <td>7校</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>鳥取看護大学</td> <td>3校</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>鳥取短期大学</td> <td>3校</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table> |           |           |                       |                     |           |                    |                 |                        |            |  | 大学 | 実施校数 | 延べ教員数 | 鳥取大学 | 9校  | 30人 | 鳥取環境大学 | 7校       | 14人 | 鳥取看護大学 | 3校   | 5人       | 鳥取短期大学 | 3校 | 3人 |
| 大学   | 実施校数      | 延べ教員数     |                       |                     |           |                    |                 |                        |            |  |    |      |       |      |     |     |        |          |     |        |      |          |        |    |    |
| 鳥取大学   | 9校        | 30人       |                       |                     |           |                    |                 |                        |            |  |    |      |       |      |     |     |        |          |     |        |      |          |        |    |    |
| 鳥取環境大学   | 7校        | 14人       |                       |                     |           |                    |                 |                        |            |  |    |      |       |      |     |     |        |          |     |        |      |          |        |    |    |
| 鳥取看護大学   | 3校        | 5人        |                       |                     |           |                    |                 |                        |            |  |    |      |       |      |     |     |        |          |     |        |      |          |        |    |    |
| 鳥取短期大学   | 3校        | 3人        |                       |                     |           |                    |                 |                        |            |  |    |      |       |      |     |     |        |          |     |        |      |          |        |    |    |
| ICT活用推進事業  | 7,727,000 | △ 499,000 | 0                     | 0                   | 7,228,000 | 7,102,954          | 0               | 125,046                | 98%        | 鳥取県学校教育情報化推進計画に基づき、令和4年度入学生からBYAD（機種指定・自費購入）による1人1台端末の学習環境を整備を進めている。それに伴い、教員のICT活用能力の向上を図るとともに端末を活用した学習を推進した。  |    |      |       |      |     |     |        |          |     |        |      |          |        |    |    |
| 定時制通信制教育振興費  | 778,000   | 0         | 0                     | 89,543              | 867,543   | 753,758            | 0               | 113,785                | 87%        | <p>高等学校の定時制・通信制課程に在籍する一定の要件を満たす生徒に対し、教科書・学習書等の給付を実施したり、定通関係団体への助成等を行った。</p> <p>(鳥取発！高校生グローバルチャレンジから流用)</p>   |    |      |       |      |     |     |        |          |     |        |      |          |        |    |    |
| <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>給付人数</th> <th>給付冊数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定時制</td> <td>21人</td> <td>165冊</td> <td>134,266円</td> </tr> <tr> <td>通信制</td> <td>17人</td> <td>228冊</td> <td>240,996円</td> </tr> </tbody> </table>   |           |           |                       |                     |           |                    |                 |                        |            |  |    | 給付人数 | 給付冊数  | 給付額  | 定時制 | 21人 | 165冊   | 134,266円 | 通信制 | 17人    | 228冊 | 240,996円 |        |    |    |
|  | 給付人数      | 給付冊数      | 給付額                   |                     |           |                    |                 |                        |            |  |    |      |       |      |     |     |        |          |     |        |      |          |        |    |    |
| 定時制  | 21人       | 165冊      | 134,266円              |                     |           |                    |                 |                        |            |  |    |      |       |      |     |     |        |          |     |        |      |          |        |    |    |
| 通信制  | 17人       | 228冊      | 240,996円              |                     |           |                    |                 |                        |            |  |    |      |       |      |     |     |        |          |     |        |      |          |        |    |    |

| 事業名  | 予 算 現 額   |                       |  |                       |           | 支出済額<br>(決算額)<br>B | 翌年度<br>繰越額<br>C | 差引残額<br>(不用額)<br>A-B-C | 執行率<br>B/A | 事業計画と実績・<br>成果、繰越、<br>不用額の理由等  |         |  |     |                                    |                       |  |   |  |  |  |           |  |  |  |  |                   |   |  |  |  |    |      |      |      |     |              |         |  |     |                                    |                       |  |
|--|---|-----------------------|--|-----------------------|-----------|--------------------|-----------------|------------------------|------------|--|---------|--|-----|------------------------------------|-----------------------|--|---|--|--|--|-----------|--|--|--|--|-------------------|---|--|--|--|----|------|------|------|-----|--------------|---------|--|-----|------------------------------------|-----------------------|--|
|  | 当初予算額   | 補正予算額                 | 継続費及び<br>繰越事業費<br>繰 越 額  | 予 備 費<br>支出及び<br>流用増減 | 計<br>A    |                    |                 |                        |            |  |         |  |     |                                    |                       |  |   |  |  |  |           |  |  |  |  |                   |   |  |  |  |    |      |      |      |     |              |         |  |     |                                    |                       |  |
| 未来につなぐ<br>高校生活<br>支援事業   | 8,992,000   | △ 259,000             | 0  | 0                     | 8,733,000 | 7,486,059          | 0               | 1,246,941              | 86%        | 高校生等の学校生活を支援するための取組を実施した。  |         |  |     |                                    |                       |  |   |  |  |  |           |  |  |  |  |                   |   |  |  |  |    |      |      |      |     |              |         |  |     |                                    |                       |  |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="4">実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とっとり夢プロジェクト<br/>事業</td> <td colspan="4">           創造力とチャレンジ精神をもった高校生の主体的な企画・活動を支援した(4校7企画)<br/>           ・米子東高校打上花火大会(米子東高校)<br/>           ・星置県フォトコンテスト(米子東高校)<br/>           ・鳥取県の科学部系部活動における合同合宿(米子東高校)<br/>           ・AI技術を使って、鳥取の翼を守るプロジェクト！(米子工業高等専門学校)<br/>           ・とどのう とっとり探究活動(米子東高校)<br/>           ・eスポーツによる人間力向上プロジェクト(米子南高校)<br/>           ・ピザでつなぐ"レインボーピザ"プロジェクト(鳥取大学附属特別支援学校)         </td> </tr> <tr> <td>いじめ問題支援事業</td> <td colspan="4">           全県立高校で心理検査hyper-QUを実施し、生徒及び生徒の所属する集団の状況を把握して、適切な支援策を講じる資料とした。<br/>           県立24校の1年生は各校2回・2年生は各校2回実施(定時制は1～3年生)<br/>           ・教員を対象に、心理検査hyper-QUの結果の分析や活用に関する研修実施。参加人数33人         </td> </tr> <tr> <td>高校生マナーアップ<br/>推進事業</td> <td colspan="4">           高校生の社会の一員としての自覚を高め、規範意識の向上を図るため、挨拶運動を実施した。           <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施期間</th> <th>参加人数</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>R4.4.12～4.15</td> <td>約1,040人</td> <td>登校時間帯に各学校校門前、主要通学路等における自転車の安全運転、服装、マナー等指導。<br/>※JRでの乗車指導、駅頭での活動は実施なし。</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>(前期)R4.9.6～9.9<br/>(後期)R4.9.21～9.30</td> <td>(前期)中止<br/>(後期)約1,190人</td> <td>登校時間帯に各学校校門前、主要通学路等における自転車の安全運転、服装、マナー等指導。<br/>※JRでの乗車指導、駅頭での活動は実施なし。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table> |   |                       |  |                       |           |                    |                 |                        |            |  | 区分      | 実績   |     |                                    |                       | とっとり夢プロジェクト<br>事業  | 創造力とチャレンジ精神をもった高校生の主体的な企画・活動を支援した(4校7企画)<br>・米子東高校打上花火大会(米子東高校)<br>・星置県フォトコンテスト(米子東高校)<br>・鳥取県の科学部系部活動における合同合宿(米子東高校)<br>・AI技術を使って、鳥取の翼を守るプロジェクト！(米子工業高等専門学校)<br>・とどのう とっとり探究活動(米子東高校)<br>・eスポーツによる人間力向上プロジェクト(米子南高校)<br>・ピザでつなぐ"レインボーピザ"プロジェクト(鳥取大学附属特別支援学校) |  |  |  | いじめ問題支援事業 | 全県立高校で心理検査hyper-QUを実施し、生徒及び生徒の所属する集団の状況を把握して、適切な支援策を講じる資料とした。<br>県立24校の1年生は各校2回・2年生は各校2回実施(定時制は1～3年生)<br>・教員を対象に、心理検査hyper-QUの結果の分析や活用に関する研修実施。参加人数33人 |  |  |  | 高校生マナーアップ<br>推進事業 | 高校生の社会の一員としての自覚を高め、規範意識の向上を図るため、挨拶運動を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施期間</th> <th>参加人数</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>R4.4.12～4.15</td> <td>約1,040人</td> <td>登校時間帯に各学校校門前、主要通学路等における自転車の安全運転、服装、マナー等指導。<br/>※JRでの乗車指導、駅頭での活動は実施なし。</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>(前期)R4.9.6～9.9<br/>(後期)R4.9.21～9.30</td> <td>(前期)中止<br/>(後期)約1,190人</td> <td>登校時間帯に各学校校門前、主要通学路等における自転車の安全運転、服装、マナー等指導。<br/>※JRでの乗車指導、駅頭での活動は実施なし。</td> </tr> </tbody> </table> |  |  |  | 区分 | 実施期間 | 参加人数 | 活動内容 | 第1回 | R4.4.12～4.15 | 約1,040人 | 登校時間帯に各学校校門前、主要通学路等における自転車の安全運転、服装、マナー等指導。<br>※JRでの乗車指導、駅頭での活動は実施なし。 | 第2回 | (前期)R4.9.6～9.9<br>(後期)R4.9.21～9.30 | (前期)中止<br>(後期)約1,190人 | 登校時間帯に各学校校門前、主要通学路等における自転車の安全運転、服装、マナー等指導。<br>※JRでの乗車指導、駅頭での活動は実施なし。 |
| 区分   | 実績  |                       |  |                       |           |                    |                 |                        |            |  |         |  |     |                                    |                       |  |   |  |  |  |           |  |  |  |  |                   |   |  |  |  |    |      |      |      |     |              |         |  |     |                                    |                       |  |
| とっとり夢プロジェクト<br>事業  | 創造力とチャレンジ精神をもった高校生の主体的な企画・活動を支援した(4校7企画)<br>・米子東高校打上花火大会(米子東高校)<br>・星置県フォトコンテスト(米子東高校)<br>・鳥取県の科学部系部活動における合同合宿(米子東高校)<br>・AI技術を使って、鳥取の翼を守るプロジェクト！(米子工業高等専門学校)<br>・とどのう とっとり探究活動(米子東高校)<br>・eスポーツによる人間力向上プロジェクト(米子南高校)<br>・ピザでつなぐ"レインボーピザ"プロジェクト(鳥取大学附属特別支援学校)   |                       |  |                       |           |                    |                 |                        |            |  |         |  |     |                                    |                       |  |   |  |  |  |           |  |  |  |  |                   |   |  |  |  |    |      |      |      |     |              |         |  |     |                                    |                       |  |
| いじめ問題支援事業  | 全県立高校で心理検査hyper-QUを実施し、生徒及び生徒の所属する集団の状況を把握して、適切な支援策を講じる資料とした。<br>県立24校の1年生は各校2回・2年生は各校2回実施(定時制は1～3年生)<br>・教員を対象に、心理検査hyper-QUの結果の分析や活用に関する研修実施。参加人数33人  |                       |  |                       |           |                    |                 |                        |            |  |         |  |     |                                    |                       |  |   |  |  |  |           |  |  |  |  |                   |   |  |  |  |    |      |      |      |     |              |         |  |     |                                    |                       |  |
| 高校生マナーアップ<br>推進事業  | 高校生の社会の一員としての自覚を高め、規範意識の向上を図るため、挨拶運動を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施期間</th> <th>参加人数</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>R4.4.12～4.15</td> <td>約1,040人</td> <td>登校時間帯に各学校校門前、主要通学路等における自転車の安全運転、服装、マナー等指導。<br/>※JRでの乗車指導、駅頭での活動は実施なし。</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>(前期)R4.9.6～9.9<br/>(後期)R4.9.21～9.30</td> <td>(前期)中止<br/>(後期)約1,190人</td> <td>登校時間帯に各学校校門前、主要通学路等における自転車の安全運転、服装、マナー等指導。<br/>※JRでの乗車指導、駅頭での活動は実施なし。</td> </tr> </tbody> </table> |                       |  |                       | 区分        | 実施期間               | 参加人数            | 活動内容                   | 第1回        | R4.4.12～4.15   | 約1,040人 | 登校時間帯に各学校校門前、主要通学路等における自転車の安全運転、服装、マナー等指導。<br>※JRでの乗車指導、駅頭での活動は実施なし。 | 第2回 | (前期)R4.9.6～9.9<br>(後期)R4.9.21～9.30 | (前期)中止<br>(後期)約1,190人 | 登校時間帯に各学校校門前、主要通学路等における自転車の安全運転、服装、マナー等指導。<br>※JRでの乗車指導、駅頭での活動は実施なし。 |   |  |  |  |           |  |  |  |  |                   |   |  |  |  |    |      |      |      |     |              |         |  |     |                                    |                       |  |
| 区分   | 実施期間  | 参加人数                  | 活動内容   |                       |           |                    |                 |                        |            |  |         |  |     |                                    |                       |  |   |  |  |  |           |  |  |  |  |                   |   |  |  |  |    |      |      |      |     |              |         |  |     |                                    |                       |  |
| 第1回  | R4.4.12～4.15  | 約1,040人               | 登校時間帯に各学校校門前、主要通学路等における自転車の安全運転、服装、マナー等指導。<br>※JRでの乗車指導、駅頭での活動は実施なし。 |                       |           |                    |                 |                        |            |  |         |  |     |                                    |                       |  |   |  |  |  |           |  |  |  |  |                   |   |  |  |  |    |      |      |      |     |              |         |  |     |                                    |                       |  |
| 第2回  | (前期)R4.9.6～9.9<br>(後期)R4.9.21～9.30  | (前期)中止<br>(後期)約1,190人 | 登校時間帯に各学校校門前、主要通学路等における自転車の安全運転、服装、マナー等指導。<br>※JRでの乗車指導、駅頭での活動は実施なし。 |                       |           |                    |                 |                        |            |  |         |  |     |                                    |                       |  |   |  |  |  |           |  |  |  |  |                   |   |  |  |  |    |      |      |      |     |              |         |  |     |                                    |                       |  |
| 特別支援教育<br>充実事業   | 5,106,000   | △ 954,000             | 0  | 0                     | 4,152,000 | 1,806,472          | 0               | 2,345,528              | 44%        | <p>自己理解・他者理解のための実践・研究では、県立高校において、県外講師を県内講師へ変更をする等の対応をして、関係機関等より講師を招いて職員研修、生徒講演会等を実施した。</p> <p>「高校における通級による指導」の実践・研究では、5校を設置校として指定し、通級指導教室についての教職員研修を行った。先進校への視察については、他県の訪問を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、県内学校への視察先の変更や視察訪問を中止とした。</p> <p>【不用額の理由】<br/>新型コロナウイルス感染症の影響により、実施予定であった研修や講演会等が中止やオンライン開催等となったため。</p> |         |  |     |                                    |                       |  |   |  |  |  |           |  |  |  |  |                   |   |  |  |  |    |      |      |      |     |              |         |  |     |                                    |                       |  |

| 事業名                     | 予 算 現 額                       |           |  |                     |            | 支出済額<br>(決算額)<br>B | 翌年度<br>繰越額<br>C | 差引残額<br>(不用額)<br>A-B-C | 執行率<br>B/A | 事業計画と実績・<br>成果、繰越、<br>不用額の理由等   |  |
|-------------------------|-------------------------------|-----------|--|---------------------|------------|--------------------|-----------------|------------------------|------------|---|--|
|                         | 当初予算額                         | 補正予算額     | 継続費及び<br>繰越事業費<br>繰越額  | 予備費<br>支出及び<br>流用増減 | 計<br>A     |                    |                 |                        |            |   |  |
| 文化芸術活動<br>支援事業          | 29,666,000                    | △ 566,000 | 0  | △ 1,280,000         | 27,820,000 | 26,172,168         | 0               | 1,647,832              | 94%        | <p>高等学校文化部に対して支援を行うことで、文化部活動を活性化し、文化芸術活動に対する機運を高めるとともに、近畿高等学校総合文化祭の成果を維持・継続すべく、日々の部活動の環境を整えた。</p> <p>全国高等学校総合文化祭（東京都）、及び近畿高等学校総合文化祭（和歌山県）は、それぞれ現地での開催となった。</p> <p>また、高校生「まんが王国とっとり」応援団の活動成果の維持・発展を目指し、平成27年度の近畿高等学校総合文化祭鳥取大会のまんが部門開催を契機に設置した「まんが専門部」の活動を支援した。（鳥取発！高校生グローバルチャレンジへ流用）</p> |  |
|                         | 区分                            |           | 実績   |                     |            |                    |                 |                        |            |   |  |
|                         | 文化部活動地域専門指導者招へい事業             |           | 文化部活動において、校外の社会人に指導を受けた。   |                     |            |                    |                 |                        |            |   |  |
|                         | 校外・合同練習会支援事業                  |           | 全国高等学校総合文化祭等に合同で出場する部門が、一堂に集まってホール練習等をした。  |                     |            |                    |                 |                        |            |   |  |
|                         | 備品整備事業                        |           | チューバ、ティンパニ、一眼レフカメラ等、文化部活動に必要な備品を整備した。  |                     |            |                    |                 |                        |            |   |  |
|                         | 県高等学校文化連盟への助成                 |           | ア 全国高等学校総合文化祭(東京)派遣費補助<br>イ 近畿高等学校総合文化祭(和歌山)派遣費補助<br>ウ 鳥取県高等学校総合文化祭開催費補助   |                     |            |                    |                 |                        |            |   |  |
|                         | 文化部パワーアップ事業                   |           | 平成27年度に開催した「近畿高等学校総合文化祭鳥取大会」の成果を維持・継続し、文化部活動のレベルアップを図るため、県高等学校文化連盟に経費を補助した。<br>・県外の優秀指導者による生徒への指導や合同練習会<br>・全国水準の指導者研修への派遣 |                     |            |                    |                 |                        |            |   |  |
|                         | 区分                            |           | 実績   |                     |            |                    |                 |                        |            |   |  |
|                         | プロによるまんが講習会                   |           | 令和4年8月18日(木)、8月19日(金)漫画作品制作過程を学ぶ 3校 30名が参加   |                     |            |                    |                 |                        |            |   |  |
|                         | 高校生まんが展                       |           | 令和4年11月30日(水)～12月4日(日)米子コンベンションセンターにて 展示・作品鑑賞会等 3校   |                     |            |                    |                 |                        |            |   |  |
|                         | まんが甲子園参加事業<br>(全国高等学校漫画選手権大会) |           | 令和4年7月30(土)～31日(日)開催(高知県)<br>まんが甲子園出品校 1校  |                     |            |                    |                 |                        |            |   |  |
| グローバル<br>リーダーズ<br>キャンパス | 0                             | 0         | 0  | 11,399,000          | 11,399,000 | 10,977,260         | 0               | 421,740                | 96%        | <p>世界トップクラスの大学である米国スタンフォード大学と連携し、インターネットを活用した県内高校生向けのライブ遠隔講座を提供し、幅広い国際感覚、実践的な英語力、世界を視野に入れて活躍する高い意欲と志を持つ高校生の育成を図った。</p> <p>(小中学校課から所管替配当)<br/>(とっとり高校魅力化推進事業から流用)</p>  |  |



| 事業名                 | 予 算 現 額    |             |                       |                         |                         | 支出済額<br>(決算額)<br>B      | 翌年度<br>繰越額<br>C | 差引残額<br>(不用額)<br>A-B-C | 執行率<br>B/A | 事業計画と実績・<br>成果、繰越、<br>不用額の理由等   |
|---------------------|------------|-------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------|------------------------|------------|---|
|                     | 当初予算額      | 補正予算額       | 継続費及び<br>繰越事業費<br>繰越額 | 予備費<br>支出及び<br>流用増減     | 計<br>A                  |                         |                 |                        |            |   |
| 鳥取発！高校生グローバルチャレンジ事業 | 0          | 0           | 0                     | (460,000)<br>6,335,457  | (460,000)<br>6,335,457  | (460,000)<br>3,533,028  | (0)<br>0        | (0)<br>2,802,429       | 56%        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外留学・海外体験説明会を実施し、留学気運の醸成を図った。</li> <li>・海外留学支援事業及び海外体験支援事業により、1年程度の長期留学する生徒2名及び1カ月以内の短期留学する生徒5名に補助金を支給した。</li> <li>・高等学校等派遣支援事業により、2校5名の生徒に学校独自の海外派遣プログラムの参加のための補助金を支給した。</li> <li>・高校生英語弁論大会を予定通り実施し、高校生の英語学習の成果を発表する機会を提供した。</li> <li>・高校生英語弁論大会優秀者派遣事業として、令和3年度優秀者2名と令和4年度優秀者2名の計4名をニュージーランドクライストチャーチに派遣した。</li> </ul> <p>【不用額の理由】<br/>新型コロナウイルス感染症の影響等により、ニュージーランドクライストチャーチ高校生架け橋プロジェクト、理数課題研究等発表会優秀者派遣事業が中止となったため。<br/>(小中学校課から所管替配当)<br/>(文化芸術活動支援事業、学校連携による学カステップアップ事業から流用、定時制通信制教育振興費へ流用)</p> |
| 目 計                 | 78,869,000 | △ 6,927,000 | 0                     | (460,000)<br>16,539,000 | (460,000)<br>88,481,000 | (460,000)<br>73,682,621 | 0               | (0)<br>14,798,379      | 83%        |   |

| 事業名                              | 予 算 現 額       |              |                          |                         |                              | 支出済額<br>(決算額)<br>B           | 翌年度<br>繰越額<br>C | 差引残額<br>(不用額)<br>A-B-C | 執行率<br>B/A | 事業計画と実績・<br>成果、繰越、<br>不用額の理由等   |
|----------------------------------|---------------|--------------|--------------------------|-------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------|------------------------|------------|---|
|                                  | 当初予算額         | 補正予算額        | 継続費及び<br>繰越事業費<br>繰越額    | 予備費<br>支出及び<br>流用増減     | 計<br>A                       |                              |                 |                        |            |   |
| (教育財産管理費)<br>倉吉農業高等学校演習<br>林活用事業 | 474,000       | 0            | 0                        | 0                       | 474,000                      | 380,082                      | 0               | 93,918                 | 80%        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・演習林の教育的活用では、6月から11月までの演習林実習において育林管理や林内の希少植物の保護等を環境科の生徒で実施。</li> <li>・演習林内で鳥獣害対策について、森林内における被害状況・仕掛けられたわなや捕獲免許の仕組みなどを猟友会から学んだ。</li> <li>・近年の木材加工の技術、建築技術（仕口と継手・海外での建築工法・伝統工法）について学んだ。</li> <li>・カラマツ立木の伐倒と玉切り実習を行い、林業機械の安全な取り扱いについて学んだ。</li> </ul> |
| 目 計                              | 474,000       | 0            | 0                        | 0                       | 474,000                      | 380,082                      | 0               | 93,918                 | 80%        |   |
| 合 計                              | 1,303,025,000 | △ 92,937,000 | (4,436,000)<br>4,436,000 | (460,000)<br>14,639,000 | (4,896,000)<br>1,229,163,000 | (4,896,000)<br>1,203,521,154 | 0               | 25,641,846             | 98%        |   |

8 予備費の充用調べ

該当なし

9 現金の取扱状況

(1)現金取扱状況

該当なし

(2)つり銭の状況

(令和5年3月31日現在)

|        |   |          |   |
|--------|---|----------|---|
| つり銭の有無 | 無 | つり銭の額(円) | 0 |
|--------|---|----------|---|

10 財産に関する調べ

(1)公有財産

ア 土地

該当なし

イ 建物

該当なし

ウ 山林

該当なし

エ 不動産売却

該当なし

オ 財産の交換

該当なし

カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)

該当なし

キ 物権

該当なし

ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等)

該当なし

ケ 有価証券

該当なし

コ 出資による権利

該当なし

(2)金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

有  無

イ タクシーチケットの受払状況

(令和5年3月31日現在)

| 前年度末未使用枚数 | 本年度中 |          | 本年度末未使用枚数 |
|-----------|------|----------|-----------|
|           | 購入枚数 | 使用枚数及び金額 |           |
| 28枚       | 0枚   | 0枚       | 28枚       |
|           |      | 0円       |           |

(3)基金

該当なし

(4)債権

該当なし

1 1 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

該当なし

イ 建物

該当なし

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄付受納時の評価額が100万円以上のもの)

該当なし

1 2 借受不動産明細調べ

該当なし

1 3 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

該当なし

(2) 減免の考え方

該当なし

(3) 使用料の見直し

該当なし

1 4 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

1 5 備品の処分状況調べ

| 品名<br>(規格・銘柄)                                      | (保管換年月日)<br>取得年月日 | 不用<br>決定<br>年月日 | 処分             |                                     |            |        | 備考     |      |
|--|-------------------|-----------------|----------------|-------------------------------------|------------|--------|--------|------|
|  |                   |                 | 売払<br>棄却<br>の別 | 売払方法・<br>棄却理由                       | 処 分<br>年月日 | 売払額    |        | 処分費用 |
| マークシート<br>読取ソフト<br>(Remark<br>Office OMR<br>Ver.7) | H25.1.30          | R4.12.2         | 棄却             | ソフトの読み<br>込みができ<br>ず、使用不可<br>であったため | R4.12.2    | 円<br>0 | 円<br>0 |      |
| 合計   |                   |                 |                |                                     |            |        |        |      |

16 貸付金等状況調べ

(1) 総括表

該当なし

(2) 償還状況

該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

該当なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

該当なし